

平成26年度 国立江田島青少年交流の家教育事業

体験活動ボランティア養成セミナー実施報告書

【趣 旨】 国立青少年教育振興機構のボランティア養成共通カリキュラムによる研修を通じて、子供たちの体験活動を支援するボランティア活動についての基礎的な知識や技術を身に付ける。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家

【期 日】 第1回 平成26年5月17日(土)～5月18日(日) 1泊2日
第2回 平成26年7月20日(日)～7月21日(月・祝) 1泊2日
第3回 平成26年9月 6日(土)～9月 7日(日) 1泊2日

【会 場】 国立江田島青少年交流の家

【対 象】 全国の教育拠点において教育事業や研修支援事業等の運営協力・指導など多様なボランティア活動を行うために、「法人ボランティア」登録を希望する者。(概ね15歳以上(中学生を除く。)の青年および青少年教育に関心のある者。)

【参加者数】 第1回 8人
第2回 13人
第3回 6人

【講 師】 日本赤十字社広島県支部指導員 伊藤 恵美子
国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 福江 大幸, 小早川 崇

【企画・運営のポイント】

- (1) 応急手当などの救命救急に必要な知識・技術を学ぶため、日本赤十字社広島県支部の指導員が講義・演習を行う。
- (2) 事業全体を通して、常に指導者の視点を意識するように参加者に声かけをするとともに、講師にもその点を意識して講義・演習を行うように依頼する。
- (3) 参加者同士の学びが円滑に進むように、参加者同士が親しくなるようなアイスブレイクをプログラムの最初や合間に取り入れる。
- (4) 複数回実施することで、法人ボランティア資格を得て子供たちの体験活動を支援したいというニーズに幅広く応える。

【活動の実際】

(1) 内 容

- ①【講義】 青少年教育の理解 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 福江 大幸
(内容) 青少年の社会性の遅れなど、今日の社会における青少年教育の課題や発達段階に応じた体験活動の必要性を理解する。

- ②【講義・演習】救急救命法 日本赤十字社広島県支部指導員 伊藤 恵美子
 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 福江 大幸
 (内容) 応急手当など救命救急に必要な知識・技術を学ぶ。

- ③【講義】ボランティア活動の意義 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 小早川 崇
 (内容) ボランティア活動の意義について理解するとともに、ボランティア活動における心構えや留意点を学ぶ。

- ④【講義】青少年教育施設におけるボランティア活動の理解 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 福江 大幸
 (内容) 青少年教育施設におけるボランティア活動の内容の理解や登録制度について理解する。

- ⑤【演習】野外炊事 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 福江 大幸
 小早川 崇
 (内容) 野外炊事を行う上で配慮すること等、野外炊事に対応するための知識・技術を体験的に学ぶ。

- ⑥【講義】青少年教育施設の現状と運営 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 福江 大幸
 (内容) 青少年教育施設の教育機能や役割、運営について理解する。

(2) 日程

①第1回

5月17日(土)	10:00		10:30		12:00		13:00		16:00		17:00		19:00		20:30		22:30	
	受付	開講式	青少年教育の理解	昼食	救命救急法				タベのつどい夕食	ボランティア活動の意義	入浴・就寝							
5月18日(日)	9:00		10:30		14:30				16:00									
	朝食・清掃 朝のつどい	青少年教育施設におけるボランティア活動の理解	野外炊事演習(昼食を含む)				青少年教育施設の現状と運営	閉講式										

②第2回

7月20日(日)	9:00		10:00		10:30		12:00		13:00		16:00		17:00		19:00		20:30		22:30	
	受付	開講式	青少年教育の理解	昼食	救命救急法				タベのつどい夕食	ボランティア活動の意義	入浴・就寝									
7月21日(月)	9:00		10:30		14:30				16:00											
	朝食・清掃 朝のつどい	青少年教育施設におけるボランティア活動の理解	野外炊事演習(昼食を含む)				青少年教育施設の現状と運営	閉講式												

③第3回

9月6日(土)	9:00		10:00		10:30		12:00		13:00		16:00		17:00		19:00		20:30		22:30	
	受付	開講式	青少年教育の理解	昼食	救命救急法				タベのつどい夕食	ボランティア活動の意義	入浴・就寝									
9月7日(日)	9:00		10:30		14:30				16:00											
	朝食・清掃 朝のつどい	青少年教育施設におけるボランティア活動の理解	野外炊事演習(昼食を含む)				青少年教育施設の現状と運営	閉講式												

(3) 費用 2,800円

(食費 2,200円 シーツ等洗濯料 200円 傷害保険代 100円 ボランティア保険加入代 300円)



青少年教育の理解



ボランティア活動の意義



救命救急法



野外炊事演習



野外炊事演習



青少年教育施設の現状と運営



研修プログラム体験 (カプラ)



アイスブレイク



アイスブレイク

【成果】

- 救命救急法では、日本赤十字社広島県支部の指導員を招聘し、講義・演習を行った。CPR・AEDだけではなく熱中症対策等についても体験的に学ぶことができ、救命救急に必要な知識・技術を身に付けることができた。
- 参加者のアンケートでの満足度は100%であった。「自分がこれからスタッフとして子供と接していく中で気を付けることがたくさんあり、今日習ったことをこれからのキャンプ運営で生かしていきたい。」という感想があり、体験活動の支援者としての実践力を身に付けることができた。
- 希望者の受講する機会を確保するため、5月、7月、9月の3回実施した。その結果、新たな法人ボランティアを養成することができ、その後、教育事業等でスタッフとして活躍している。

【今後の課題】

- 今年度、3回にわたってこの事業を行った。受講希望者の日程と開催日程が合わないことから法人ボランティア資格を得ることができない希望者も昨年度よりは減ったが、数名いた。今後も希望者全員が法人ボランティア資格を得ることができるように、事業の開催時期や回数を調整する等の工夫が必要である。
- 当交流の家の教育事業やリレーションシップ事業にボランティアとしての参加を促すとともに、その中でもフォローアップしていく。